

としょかん だより

2026.11 No.225



不動技研ながさき市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1
TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948
ホームページ
<https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>

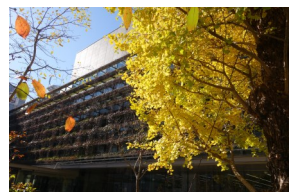


ホームページ

Topic

■図書館さんぽシリーズ④ 秋を探しに

図書館の敷地内に生息する木々や草花。
季節の移ろいを感じさせてくれます。
今の時期は紅葉が見頃です。
図書館で秋、みつけてみませんか。



Information

図書の展示

1 階特集展示 古典三昧 (11/2~11/29)

特別展示 世界をめぐる：世界の伝説・伝承まかふしぎ

特別展示 知っておきたい 税とくらしのお金 (～11/16)

2 階特集展示 ひらめきから生まれる (11/2~11/29)

特別展示 長崎歴史文化博物館 文化財未来継承プロジェクト『綴TSUZURI』

高精細複製品が語る美の世界 連動展示 (～11/8)

特別展示 出島と長崎の町と人々 出島第IV期復元整備事業連続シンポジウム

出島における日本人との交流ー出島町人の視点からー 連動展示 (～11/15)

特別展示 ご存知ですか？11月30日は人生会議 (ACP) の日 (11/19～)

特別展示 長崎を描いた作品～コミック編～

特別展示 九州農政局「移動消費者の部屋『食中毒の原因と主な細菌など～食中毒を防ぐために～』」連動展示

YA 特集展示 癒しの世界

投稿展示 お気に入りの歌詞フレーズ

児童特集展示 秋いっぱいみつけた♪いろいろな秋みつけた♪ (～11/9)

冬とあそぼう (11/11～)

特別展示 本で出会う、子どもの権利。～長崎のいろんな人が選ぶ「子どもの権利につながる一冊」

～こどもまんなか居場所づくり塾×長崎市立図書館 (11/5～)

ミニ展示 もっと知りたい！こことからだ

図書館アンケート実施中！
(～11/30まで)

所要時間2分ほどの簡単な
アンケートです。
ご協力お願いします。

回答はこちらから♪

図書館を利用したことが

ある人↓



ない人↓



または1年以上
利用していない人

イベント

イベント報告 図書館バックヤードツアー

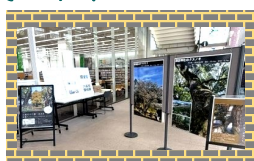
10月12日、通常は公開していないバックヤードや4階書庫などを巡るツアーを開催しました。いつも利用している図書館とは違う一面を体験した参加者からは、驚きの声が上がっていました。



パネル展 長崎で生き続ける巨樹・名木たち

日 時：～11月30日 (月)

場 所：クロスロード



本・雑誌のリサイクル市

図書館で利用されなくなった本や雑誌を、
無料でおゆずりします。

日 時：11月22日 (日) 10～16時

会 場：多目的ホール

※当日、東口にて9時50分より整理券配布
12時から整理券なしで入場可能



寄贈紹介

第一生命児童文庫

第一生命労働組合長崎支部様は、青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり・社会づくりに貢献したいという趣旨

で、昭和63年度から毎年児童図書を寄贈されています。

39回目となる今年度も48冊 (10万円相当) を寄贈されました。これまでにいただいた図書は、4,814冊になります。



開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。
としょかんだよりの最新号・バックナンバーは図書館ホームページからもご覧いただけます。

BOOKS：お仕事、拝見

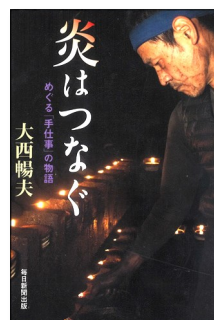
いろいろな「働く」と出会う



レイアウトは期日までに

碧野 圭/著
U-NEXT
F913.6アオ(1階日本現代)

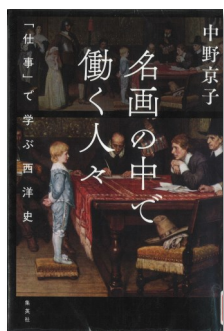
デザイナー契約は打ち切れ、迷い犬を拾ったことでアパートも追い出される寸前。職なし宿なしの「詰んだ」赤池めぐみは、憧れの同世代ブックデザイナー桐生青の求人に応募し、一緒に働くことに。天才・気まぐれと噂のたえない売れっ子装丁家との仕事とは。



炎はつなぐ めぐる「手仕事」の物語

大西 暢夫/著
毎日新聞出版
576.4オ(2階フロア)

1本の和蠟燭は、職人の繋がりで支えられている。蠟となるハゼの実を収穫するちぎりこさん、実の絞りカスを使う藍染職人、藍染で残る灰を用いる小鹿田焼（おんたやき）の陶芸家。一見無関係に見える手仕事も、自然の恵みを無駄なく循環させ相互に成り立っている。伝統工芸をめぐる繋がりを紐解く1冊。島原の木蠟職人も紹介。



名画の中で働く人々 「仕事」で学ぶ西洋史

中野 京子/著
集英社
723ナ(2階フロア)

闘牛士、侍女、宮廷音楽家、羊飼いなど名画に塗り込められたさまざまな職業。西洋の画家たちは、なぜ働く人々を風俗画や肖像画、歴史画などに描いたのか。職業にまつわる歴史や描かれた当時の社会情勢などを絡めながら、その謎を解き明かしていく。



退職クロスロード

安藤 祐介/著
実業之日本社
F913.6アン(1階日本現代)

ビルメンテナンス会社の守田は、仕事先の社員・佐和山から自分の会社で働かないかと打診される。今日で定年退職し清掃会社を立ち上げる彼は、挨拶以外とりわけ接点もない自分をなぜ誘ったのか。人と人との縁や思いが交錯する、年度末の1日を描く群像劇。



みずもかえでも

関 かおる/著
KADOKAWA
F913.6セキ(1階日本現代)

「演者に許可なく写真を撮らない」演芸写真家を目指していた宮本繭生は、その約束を破り、落語家・楓家みず帆の高座中に無断でシャッターを切ってしまう。それを隠したまま逃げるようにウェディングフォトカメラマンに転身した繭生の前に、みず帆が花嫁として現れる。目を背けていた過去と向き合うことに。



江戸のフリーランス図鑑 出商いと町角の芸人たち

飯田 泰子/著
芙蓉書房出版
384.3イ(2階フロア)

時は江戸。魚売りや夜鷹蕎麦、薬売りに紙屑買いなど人々の暮らしを支えていた出商い。軽業師や噺家、金魚売りなど楽しみをもたらす町角の人びと。いわば「フリーランス」ともいえるこれらの仕事内容と背景について、『守貞謾稿』や『人倫訓蒙図彙』などの図を用いながら解説していく。

公式SNS
イベント情報
などを発信中♪



X



LINE



Instagram

本や雑誌を
無料で読めます♪



電子図書館